

Bazaar

Harper's

月刊
スペシャル・プラ

ハーパーズ・バザー

2015年5月号

特別定価 ¥680

STYLE
IN
BLOOM

花と始まる
春スタイル

ボヘミアンから
グラムロック、クチュール…
フラワーモチーフが
百花繚乱

SHOP
BAZAAR

厳選アイテムを
オンラインでお買い物!

SPECIAL
SAKURA

桜に魅せられた

花に包ま
グウィ
パルト

GUEST
アレクサ

フラワーパワーで輝く

flowers

*L*OUISE

*D*AHL -

*W*OLFE

BAZAAR LIBRARY vol.3

完全なる女性フォトグラファー、
ルイーズ・ダール=ウォルフ

1930年代後半から、スノー、ブロードヴィッチ、そしてヴリーランドとタッグを組み

ハーパーズ バザールの専属として数多くの作品を残した女性写真家、ルイーズ・ダール=ウォルフ。

美の表現者として君臨した四半世紀以上にわたるキャリア、その軌跡を追う。







PHOTOGRAPHER

LOUISE DAHL-WOLFE

極めて富んだ進取の気性と^{うっぽつ}鬱勃たる闘志で写真界をリードし、バザーでは実に86もの表紙と600ページ以上にわたる作品を発表した、ルイズ・ダール=ウォルフ。生前の彼女とも親交が深く、1981年からファッション写真をアートとして打ち出した前衛的な存在で知られる、NYのステイリー=ワイズ・ギャラリーの創始者たちと、そのクロニクルを紐解く。

本名ルイズ・エマ・オーガスタ・ダール。「イニシャルを綴ると“LEAD(=導く者)”にな



る。フルネームに特別な意味を込めたいという実母のユニークな発想が、名付けのヒントになったそうです」。大学ではファインアート、色彩学、インテリアデザイン、そして建築を専攻し、アーティストとしての確固たる基盤を備えた。1920年代後半、アーティストのマイヤー・ウォルフと旅先での運命的な出会いを経て結婚。時期を同じくして写真へのめり込み始めていた彼女は、彫刻や絵画制作に励む夫の傍らで、自身の作品作りに向けての撮影に打ち込んだ。

その後、夫と住んでいたテネシーからNYに移住して間もなく、バザーに作品を持参したことがきっかけで、本格的にファッション写真家としての活動を開始。“最強の3人組”と呼ばれたカメル・スノー、アレクセイ・プロドヴィッチ、そしてダイアナ・ヴリーランドとタッグを組み、バザーの黄金時代を華やかに彩った。「ダール=ウォルフの厳しき審美眼が反映された作品には、目にする者の心を一瞬にして掴みとる訴求力がありました。被写体と背景のシアトリカルな構成、そして自然光が織りなすドラマティックな陰影は、彼女の直感的なセンスの結晶。その像は、現代にも通じる斬新さとクオリティを兼ね備えています」

非情なまでの完璧主義者としても知られ、自身の作品には完全無欠なクオリティを求めたダール=ウォルフ。カラー写真には特に緻密な精度を追求し、そのプロダクションには試行錯誤が必至だったという。それが理由か否か、彼女のオリジナルカラー作品は誌面でのみ発表されたものが多く、現在もごくわずかのプリントしか存在しない。

「前人未到の創造性を有した彼女の作品群は、後世の写真家たちにも大きなインスピレーションを与え、彼らが越えようとするハードルのような存在になりました。世代交代を経て一線を退き、彼女が他界するわずか6年前に初めて催された個展では、1輪の薔薇を片手にダール=ウォルフの前に跪く、リチャード・アヴェドンの姿が逸話として伝えられています」 ■

写真はすべて、
バザー US版より。
p.279 1950年3月号
p.280 1950年3月号
p.281 1948年5月号
p.283 1948年5月号
p.284 1947年5月号
p.285 1955年4月号

上: ルイズ。夫マイヤー
とともに。
右: (上から) 1943年
9月号、1950年3月号、
1950年6月号。







